

今週のビルマのニュース 2009年9月25日【0936号】

軍政、恩赦で政治囚127人を釈放 評価は？

・軍政は国連総会開始直前に恩赦を行った。政治囚127人も釈放されたが、アウンサンスーチー氏を始めとした著名な民主化活動家は含まれなかった。今回の恩赦について観測筋は、これまでの恩赦と同様、国際圧力を軽減するために行われたもので、実質的な民主化改革の開始を示すものではないと見ている。外務省は「前向きの動きとして評価する」とした(22日政治囚人支援協会、18日外務省)。

・国営紙(英語版)は23日、「すべての市民は法に従って政治活動を行う権利を有する。収容されているのは国の安定や地域の平和を乱し、法律に違反した者だ」とする論説を出し、ビルマに政治囚は存在しないという見解を改めて示した(23日同紙)。

・潘基文国連事務総長は23日、国連総会で演説し、恩赦について「十分とはいえない...来年の総選挙が信用性があるものとして受け入れられるには、アウンサンスーチー氏を始めとするすべての政治囚が釈放されなければならない」と述べた(23日国連)。

米国、今後は制裁と対話両方を活用へ

・クリントン米 국무長官は23日、「制裁も米国の対ビルマ政策の重要な一部と考えるが、今後は制裁と同時に対話も活用していく」と述べた。国務省職員によれば、軍政側は米国側との連絡役を任命する予定とのこと。制裁は、軍政側が確実な前進を見せない限りは解除しない。なお新しいビルマ政策そのものはまだ公表されていない(24日国務省ほか)。

・米国の新政策について、アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟(NLD)幹部のニャンウィン氏は「米国が軍政に圧力もかけ続ける限りは(関与についても)支持する」と述べた(24日WSJ)。

岡田外相のビルマに関する発言

・国連本部で22日、日英外相会談が行われた。ミリバンド外相は、アウンサンスーチー氏を始めとする政治囚の釈放の重要性については日本側と一致しているものの、そのための手段についてはこれまで一致できなかったと述べ、日本も民主化支援にしっかり取り組んで欲しいと述べた。岡田外相は、日本の対ビルマ支援は人道目的中心で、英国の取組みに近いこと、軍政に問題があるのは事実だが、圧力だけでなく対話も重要であると述べた(23日外務省)。

・岡田外相は23日、ビルマ問題に関する国連事務総長のフレンズ会合にも出席し、アウンサンスーチー氏への禁固刑判決は極めて残念であること、軍政が早期にスーチー氏を含む政治囚を釈放することを期待していることを述べた。また、軍政による受刑者の釈放を前向きな動きとして評価し、軍政による前向きな動きに対しては国際社会として前向きに反応することが重要だと考えたと述べた。さらに人道的見地からビルマ国民への支援を引き続き強化する必要があるとの考えを述べた(24日外務省)。

*フレンズ会合は潘基文事務総長が不定期に主催するもので、日米英仏タイ等14か国が参加。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など 新たな発表はなし

注目記事

- ・「鳩山新政権誕生、日本のビルマ政策は見直しの好機」9月23日、ウォールストリート・ジャーナル
- ・「風 民主化へ 試される鳩山外交 ミャンマー(山本大輔)」9月20日、朝日新聞朝刊国際面

イベント情報

- ・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、24~25日 15~16時)
- ・追悼集会~サフラン革命2周年記念・長井健司さん三回忌にあたって(仮題) 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか(国連大学前、27日 15時~18時)
- ・難民映画祭「Burma VJ」(イタリア文化会館 10月3日 18時半、ドイツ文化センター 6日 17時)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

| |
|---|
| <p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p> |
|---|